

# 令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立八雲中学校

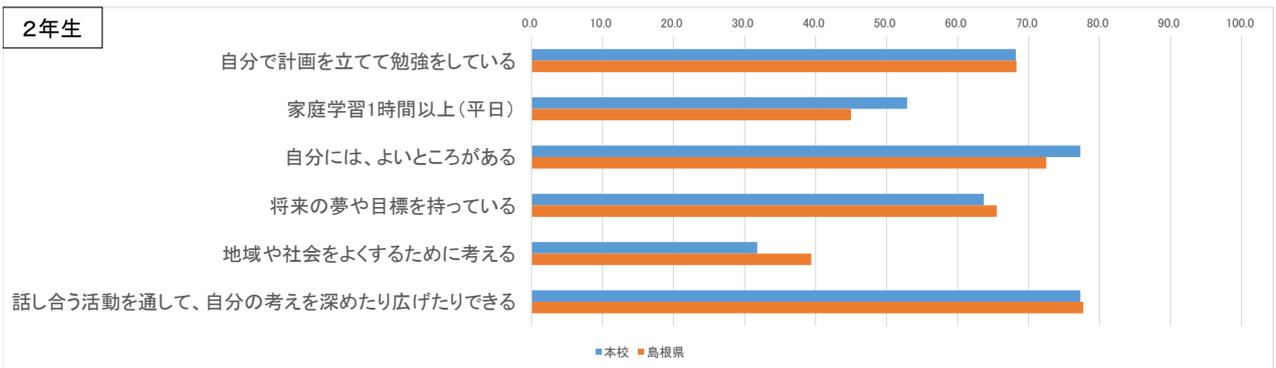
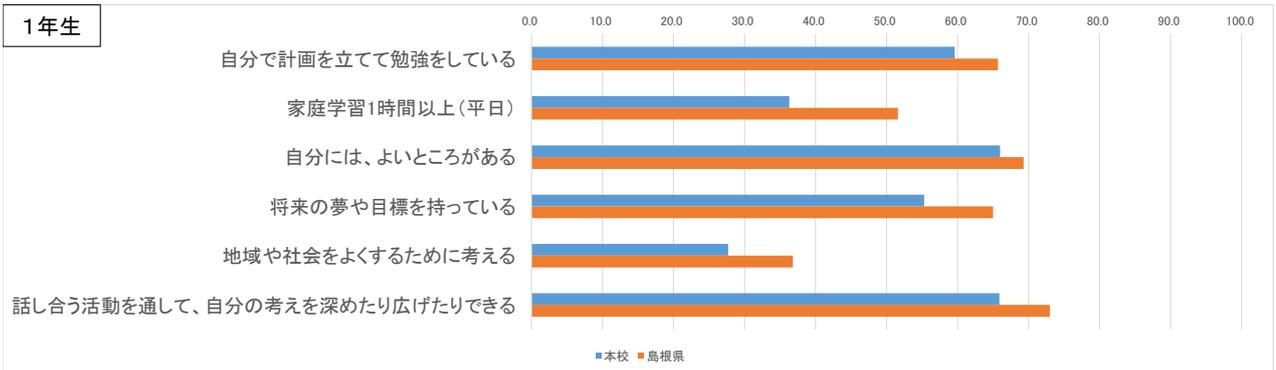
## 【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書く内容が明確になるよう文章構成を考えることができる。</li> <li>○条件に合わせた文章を書くことができる。</li> <li>●小学校で学習した漢字が書けない。</li> <li>●説明文で、筆者の意図をとらえる読解に課題がある。</li> <li>●中学校で習う漢字の読みができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文法や語句に対する知識や理解が1年前と比べて向上している。</li> <li>○説明的な文章の構成をとらえ、筆者の意図を読み取ることができる。</li> <li>●小学校で学習した漢字が書けない。</li> <li>●表現の工夫とその効果についてあまり理解できていない。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎、活用ともに県平均、市平均より低い。</li> <li>●特に文字の式、比例・反比例の単元の得点が低い。</li> <li>●得点の個人差が大きく、中間層が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的にかなり改善され、県平均、市平均を上回った。基礎は特に等式の変形、連立方程式がよく、計算練習等の取り組みの成果と考えられる。活用は少人数授業の発展的な学習のコースの生徒の底上げの成果と考えられる。</li> <li>●活用は全国平均を下回ったが、読解力を上げることができた。図形の領域は調べていないので昨年度と比べることができない。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎、活用ともに県平均、市平均を上回った。</li> <li>○特に、対話文の応答の聞き取り、語形・語法の知識理解、3文以上の英作文ができており、普段の授業、家庭学習での単語、文等の継続的な練習の成果と考えられる。</li> <li>●場面に応じて書く英作文の得点が低く、内容を読み取り、適切な表現を考え、書くことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に改善され、基礎、活用ともに県平均、市平均を上回った。</li> <li>○特に、対話文の応答の聞き取り、語彙の知識・理解、3文以上の英作文の得点が高かった。普段の授業や家庭学習での単語、文等の練習、少人数授業の中で、生徒一人ひとりに個別に英作文指導等ができる時間を確保できている成果と考えられる。</li> <li>●場面に応じて書く英作文の得点が低く、内容を読み取り、適切な表現を考え、書くことに課題がある。</li> </ul>

## 【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域の行事に参加している」が県平均より高い。今年度、地域のボランティア活動を募集した際、1年生の中で進んで参加する生徒が増えてきている。秋に地域訪問をしたことがよききっかけになっていると考える。</li> <li>●その反面、「地域や社会をよくするために考える」の項目は県平均を下回っている。自分自身が地域等のボランティアに参加している意義を意識づけする必要がある。</li> <li>●家庭学習時間が少なく習慣化していないことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分、友達、家族から認められていると感じている生徒が多い。</li> <li>○学習への意欲が高まり、平日家庭学習1時間以上の割合が増加し、県平均を超えた。</li> <li>●生活習慣（睡眠、朝食）の項目は県平均より低いので、規則正しい生活を意識させたい。</li> <li>●本、新聞を読む生徒が少ない。</li> </ul>

## 【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 1年生 47 名      2年生 68 名      (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)